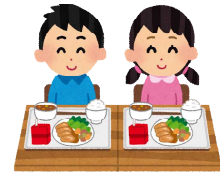




食育だより

令和4年7月 宇都宮市立城山西小学校

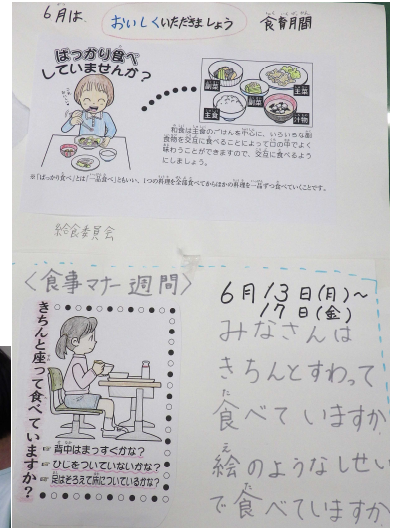


食育月間・食事のマナー週間の取り組み

城山地域学校園では、6月の食育月間に合わせて「食事マナー週間」を設け、「残さず食べようシール大作戦」「好きな給食アンケート」「動画で学ぶ正しいお箸の持ち方」等の取組を行いました。また、それらの取組について、給食委員会が作成したポスターを掲示したり、給食の時間に放送で呼びかけたりして、啓発活動を行いました。好きな給食アンケートでは、配付されるとすぐにそれぞれ好きなメニューを書き込む様子が見られました。見事1位に選ばれたメニューは、給食に登場するそうなのでどうぞお楽しみに♪



☞ 1年生は、給食時以外にも栄養士船山先生ご指導の下、箸を持つ練習を行いました。



5年総合 地球も伝統も守り伝えるふるさとの味 SDGs学習



各ご家庭や給食室で出た野菜くずを土に入れてから3日目、恐る恐るカバーを外してみると…野菜くずはほとんどなくなっていました。その代わりにそれらを分解した微生物がほかほかと元気な姿を見せました。

「あったか〜い!」「野菜くずが消えた〜!」子どもたちもびっくり! 普段は目に見えない土の中の大切な存在に目を向ける機会となりました。

土作りから始まった学習は、この後、種まき、夏休み明けに収穫を行う予定です。これまでの取組の中で、世界の食糧不足やフードロスの問題、日本の自給率の低さやフードマイレージの意味について確認したり、休日に食べた昼ご飯やその日の給食に食べるものがどこからきているか想像したりすることを通して、人や社会、環境に配慮した持続可能な消費行動について考えました。釣ってきた魚を料理して食べた子や家の裏の畑で採れた野菜を料理して食べた子もいて「フードマイレージ0に近い!」「自然や農業、農村の景観を守ることにもつながっている!」と気付く様子が見られました。秋からは持続可能な食としての日本食という視点で、郷土料理しもつかれを料理して食べたり、全国の郷土料理について調べたりする予定です。

